





## A-2 身近な自然・生きものを知ろう！

～身近な生きものを知り、身近な自然への興味・理解を深める～

講義担当:(ふるさと侍従川に親しむ会)山田陽治

講座対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校低学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	幼稚園・保育園の自然体験活動。小学校 1、2 年の生活科。小学校 3～6 年の理科、総合的な学習の時間。その他、中学校や各種団体の自然観察など		
関連のあるSDGsのゴール	4, 15  	オンライン授業	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input checked="" type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他( 曜日)		
対応時間	いつでも(但し、要調整)		
年間実施上限数	なし		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(どこでも※必要な場合はディスプレイなど使用できる環境) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ(どこでも※但し、下見した上での判断となります) <input checked="" type="checkbox"/> 自然体験(どこでも※但し、下見した上での判断となります)		
講座所要時間	応相談		
実施条件、必要な準備等	アクティビティの内容によります(事前打合せで確認します)		

### 講座内容

#### ねらい

1. 身近な生きものについて興味を持ち、知ることによって自然を守るための資質を育てる
2. 地域や環境の違いによって、そこに棲む生き物の違いを知ることによって生物や環境の多様性についての理解を深める
3. 様々なアクティビティやプログラムを行うことによって、上記のねらいを年齢に応じて達成します

#### 内容

1. 生き物調べ
2. 「ミニ水族館づくり」「ミニ博物館づくり」「葉っぱと仲良くなろう」「木と仲良くなろう」「森の宝ものを探そう」等の体験型プログラム
3. 観察
4. 生き物やその環境についての説明

などですが、趣旨にあえば、受講者の要望に応じた対応も可能です



問合せ先:ふるさと侍従川に親しむ会 TEL:090-3806-0055

メールアドレス:info★jijyukai.sakura.ne.jp(★を@に置き換えてください)

ホームページ:http://jijyukai.sakura.ne.jp/wp/

# A-3 「動物のからだの不思議」

～みんなとどこが違うかな？動物のからだを見てみよう！～

講義担当：(公財)横浜市緑の協会（よこはま動物園、野毛山動物園、金沢動物園）

講座対象者	<input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	6年生理科「体のつくりとはたらき」		
関連のあるSDGsのゴール	15	オンライン授業	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	10時～15時のうち45分間		
年間実施上限数	各園1回、合計3回まで		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(パワーポイントや骨格標本を使用しての講義・実習 ) <input type="checkbox"/> ワークショップ( ) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	約45分		
実施条件、必要な準備等	プロジェクター、スクリーン、PC(パワーポイント使用)、マイク、派生物や道具をのせる長机(台など)		

## 講座内容

### 1 講座の目的・ねらい

6年生の理科の教科書に沿った内容で動物の体のつくりを解説し、私たちの体といろいろな動物たちの体の違いを知ることにより、生命を尊重する態度を育てます。

### 2 内容

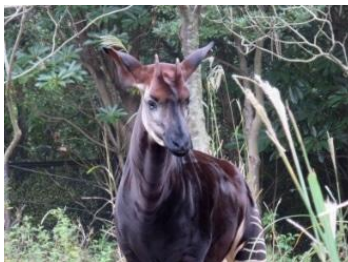
#### (1) 講義(約35分:パワーポイント使用)

草食動物と肉食動物の体のつくりの違いを、写真を使用して説明します。

#### (2) 実習(約10分)

動物の頭骨などの標本を観察します。

- ※ 申込期限:出前講座の募集期間をご確認の上、実施の1か月前までお申込みください。
- ※ 事前準備:当日の説明等を円滑に進めるため、事前に先生との打ち合わせをお願いします。
- ※ 新型コロナウイルス感染拡大状況等により実施内容を変更する場合があります。





# A-5 「身の回りの生きもの 野鳥を知ろう」

## 野鳥観察を通して、地域の自然を知る

講義担当:(公財)日本野鳥の会 横浜自然観察の森レンジャー

講座対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校低学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	小学校理科・横浜の時間・宿泊体験学習行事の事前学習 等		
関連のあるSDGsのゴール	11・13・15	オンライン授業	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input checked="" type="checkbox"/> その他(平日 ※休館日を除く。)		
対応時間	45分(相談可)		
年間実施上限数	2回		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(対面もしくはオンライン) <input type="checkbox"/> ワークショップ <input type="checkbox"/> 自然体験(校庭か近隣の公園等)		
講座所要時間	45分		
実施条件、 必要な準備等	・休館日の月曜(祝日の場合は翌日)と12/28~1/4は対応できません。 ・オンラインの場合は実施可能な設備(PC・wi-fi等)があること。		

講座内容
<p>ご要望に合わせて対応させていただきます。</p> <p><b>■ねらい:</b><u>身の回り</u>にいる野鳥を知り、観察の方法を身に付ける。  <u>野鳥を通じて、自分が住む地域の自然に関心を持つ機会とする。</u></p> <p><b>■内容:</b>レンジャーが講師として出向き、以下の講義をおこないます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>野鳥に関心を持つ。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・野鳥ってなんだろう?野生の鳥、野生動物とは?</li> <li>・野鳥の体のつくり</li> </ul> </li> <li>地域の自然に関心を持つ。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校など身の回りに生息している野鳥</li> <li>・身近な自然環境と野鳥の関わり</li> </ul> </li> <li>野鳥観察の仕方を知る。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・野鳥観察のポイント ものさし鳥・鳴き声等</li> <li>・観察のマナーについて</li> </ul> </li> </ol>

問合せ先:(公財)日本野鳥の会 横浜自然観察の森 TEL:045-894-7474

メールアドレス:yokohama-nc@wbsj.org

## A-6 身近な自然を学ぼう

～校庭、公園、森、里山での植物や生き物の不思議、発見！～

講義担当：NPO 法人全国森林インストラクター神奈川会

講座対象者	<input type="checkbox"/> 小学校低学年 ■小学校中学年 ■小学校高学年 <input type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 ■中学生 ■高校生 ■大学生 ■地域一般		
授業活用例	小学校・中学校・高校・大学の総合学習、地域住民・団体・企業等向け環境教育		
関連のあるSDGsのゴール	15. 陸の豊かさを守ろう	オンライン授業	<input type="checkbox"/> 可 ■不可
対応可能曜日	■平日 ■休日 ■その他( 祝日 )		
対応時間	9:00～16:00		
年間実施上限数	10回		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(野外、教室、体育館内可能) <input type="checkbox"/> ワークショップ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 自然体験(校庭、公園、森、里山等)		
講座所要時間	3時間以内(相談により延長対応可能)		
実施条件、必要な準備等	教室内の講義の場合は、プロジェクター、PC 及びスクリーン(相談希望)		

### 講座内容

身近な自然で、生きている樹木、花、野鳥、昆虫などを一緒に学びましょう！

・身近な自然の動植物の特徴について五感を使って観察しながら、それらに関わる歴史、文化、生活等も一緒に学びましょう！

・身近な自然は、校庭、公園、学校林、空地、近隣の森、通学路、田んぼ、畑、里山又は自然観察の森にあります！

・身近な自然には、今まで気がつかなかった多くの発見、不思議、わくわく感、そして感動があります！

・身近な自然や森を知れば知るほど親しみが湧き、身近な自然の仲間たちと一緒に生きていることを体感しましょう！

・紙芝居で、森林と密接な関係のある地球温暖化、生物多様性、光合成、食物連鎖、水源涵養、土砂崩れ・洪水防止、森と海との繋がり、健康等々、森林保全活動を含めた森の大切さを学びましょう！

・身近な自然でネイチャーゲームやレクリエーションの楽しい自然体験をしましょう。

みんなが知っている身近な自然探し：校庭、学校林、公園、森、田んぼ、畑、原っぱ、里山などで森林インストラクターと一緒に自然の不思議を発見しましょう。



問合せ先：NPO 法人全国森林インストラクター神奈川会

田中真次 TEL:090-1542-2154

# A-7 身近な里山を学ぼう

～校庭、公園、森、里山での植物や生き物の不思議、発見！～

講義担当：名瀬谷戸の会

講座対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校低学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	小学校・中学校・高校・大学の総合学習、地域住民・団体・企業等向け環境教育		
関連のあるSDGsのゴール	15. 陸の豊かさを守ろう	オンライン授業	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input checked="" type="checkbox"/> 休日 <input checked="" type="checkbox"/> その他(祭日)		
対応時間	9:00～16:00		
年間実施上限数	10回		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義( 野外・教室・体育館内可能 ) <input type="checkbox"/> ワークショップ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 自然体験( 校庭、公園、森、里山等 )		
講座所要時間	3時間以内(相談により延長対応可能)		
実施条件、必要な準備等	教室内の講義の場合は、プロジェクター、PC 及びスクリーン(相談希望)		

## 講座内容

・身近な里山で、生きている樹木、花、野鳥、昆虫などを一緒に学びましょう！

・身近な里山の動植物の特徴について五感を使って観察しながら、それらに関わる歴史、文化、生活等も一緒に学びましょう！

・身近な里山には、今まで気がつかなかった多くの発見、不思議、わくわく感、そして感動があります！

・身近な里山を知れば知るほど親しみが湧き、身近な自然の仲間たちと一緒に生きていることを体感しましょう！



・紙芝居を使い、里山と密接な関係のある地球温暖化、生物多様性、光合成、食物連鎖、水源涵養、土砂崩れ・洪水防止、森と海との繋がり、健康等々、森林保全活動を含めた森の大切さを学びましょう！

・身近な里山でネイチャーゲームやレクリエーションの楽しい自然体験をしましょう。

みんなが知っている身近な自然探し：里山、校庭などで森林インストラクターと一緒に自然の不思議を発見しましょう。

問合せ先：名瀬谷戸の会 ・ 田中真次

TEL:090-1542-2154

# A-8 トンボとヤゴのとりかた教えます

～トンボに学ぶ トンボで調べる 身近な生き物の世界～

講義担当:トンボはどこまで飛ぶかフォーラム

講座対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校低学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input checked="" type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	1, 2 年生活科 3年理科 身の回りの生き物 昆虫の観察 4年理科 季節と生き物(通年) 6年理科 生物と環境 3～6 年 総合的な学習の時間 クラブ活動 自然科学クラブや生き物クラブなどで身近な水辺の生き物を調べる 地域一般 身近な水辺の生き物を調べ地域環境を理解する		
関連のあるSDGsのゴール	4. 5. 11. 12. 13. 15. 17	オンライン授業	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他( 曜日) <input checked="" type="checkbox"/> 平日		
対応時間	9:00～15:00		
年間実施上限数	3～4回		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(教室などでパソコン、プロジェクターが使える場所) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ(網の使い方や選び方 トンボやヤゴのとりかた ) <input checked="" type="checkbox"/> 自然体験(プール、校庭、近隣公園、池などでヤゴやトンボを採集する)		
講座所要時間	45分～90分(内容により調整可)		
実施条件、必要な準備等	講義:パソコンとプロジェクターまたは大型テレビ ワークショップ:虫取り網(あれば) 模造紙とマーカー(グループの数)		

## 講座内容

### 1 本講座の目的とねらい

私たちは生物とともにこの地球で生活しています。このプログラムではトンボを通して生物の不思議さについて直接経験することができます。この学習をきっかけに子どもたち、参加者の皆さんは身近な自然の面白さに気づくことでしょう。さらに SDGs を自分自身の課題としてとらえ行動できる子どもたちを共に育てましょう。

### 2 内容

映像や実物の網などを使いコミュニケーションをとりながら活動を進めます。以下の例をもとに参加者に適したプログラムを組むことができます。

○トンボのひみつ「トンボのうんち、見たことあるかな？」

クイズ形式でトンボの体のつくりやライフサイクル、生息場所などを学習します。

○やってみよう！「トンボとり」「すばやく飛ぶトンボ。どこにいけばとれるかな？」

動画を視聴して網の使い方など、トンボとりのイメージトレーニングをします。

○外に出てトンボとりをしてみよう

公園や校庭で実際にトンボやそのほかの虫取りをして写真とワークシートに記録します。

教室に戻りそれらの種類と数、場所などを地図や表にまとめます。

○考えよう「トンボのためにできること」「トンボとわたしたちの暮らし」

身近な自然の大切さや面白さ、トンボと環境などをテーマにワークショップをします。


問合せ先:トンボはどこまで飛ぶかフォーラム

メールアドレス:keihin@tomboforum.com

# A-9 「横浜の生き物と環境」

～身の回りの生き物や横浜の環境について知ろう！学ぼう！～

講義担当:みどり環境局環境科学研究所

講座対象者	□小学校低学年 ■小学校中学年 ■小学校高学年 ■放課後施設利用児童 ■中学生 ■高校生 ■大学生 ■地域一般		
授業活用例	横浜の時間、小学校中学年「理科:身の回りの生物」、小学校高学年「理科:生物と環境」		
関連のあるSDGsのゴール	15 	オンライン授業	■可 □不可
対応可能曜日	■平日 □休日 □その他(曜日)		
対応時間	9時～17時		
年間実施上限数	5回		
講座実施方法 ※( )は場所等	■講義(屋内:パソコン、プロジェクターが利用できる教室、会議室等) □ワークショップ( ) ■自然体験(屋外:公園、校庭等)		
講座所要時間	45分程度		
実施条件、必要な準備等	講義の場合、パソコン、プロジェクター、ポインターの準備をお願いします。		

## 講座内容

### 1 本講座の目的・ねらい

環境科学研究所が作成した小冊子や、生き物の調査結果などを使用して、生き物への関心を高めてもらうとともに、身の回りの自然の大切さや生物多様性について考えるきっかけを作ります。

### 2 内容

講座内容や実施時間については、ご希望に添えるよう検討しますので、お気軽にご相談ください。

### 講座の例

#### ■【講義】横浜市の生き物・生物多様性について

よこはまのいきものハンドブック※1を使用し、横浜の環境やそこにすむ生き物、外来種などについて、クイズを交えながら楽しく学びます。

※1 横浜市内で見られる生き物 86種を紹介した環境科学研究所作成のハンドブック。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyochozen/kansoku/science/naiyou/tayosei/books.html>

#### ■【講義】こども「いきいき」生き物調査の紹介・ふりかえり

市内の小学5年生を対象に毎年実施している生き物アンケート調査※2の結果から、市内でも地域によって見られる生き物が違うことや、増えている生き物、減っている生き物があることなどを学びます。

※2 過去1年間に家や学校の近くで見つけた生き物に○をしてもらう調査。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyochozen/kansoku/science/naiyou/ikiiki.html>

#### ■【実習・体験】学校や身の回りの生き物探し

学校内にどんな生き物がいるのかを調べ、生き物のすむ環境や地域の魅力、大切さについて考えるきっかけを作ります。






学校内での生き物探し

問合せ先:みどり環境局環境科学研究所 TEL:045-453-2550

メールアドレス:mk-kanken@city.yokohama.lg.jp

# A-10 「生物多様性」を考えてみよう

講義担当:みどり環境局環境活動事業課

講座対象者	<input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input type="checkbox"/> 小学校中学年 <input type="checkbox"/> 小学校高学年 <input type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	小学校低学年「生活科」、中学年「理科:身の回りの生物」、高学年「理科:生物と環境」		
関連のあるSDGsのゴール	11、14、15	  	オンライン授業 <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他( )曜日		
対応時間	9時～17時		
年間実施上限数	3回(日程があれば3回を超えても開催できる場合があります)		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(パソコン、プロジェクタが利用できる教室、会議室等) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ(教室内で紙コップを使ったワークショップ) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	45～90分(調整可能)		
実施条件、 必要な準備等	パソコン、プロジェクタ、DVD プレイヤーの準備をお願いします。		

## 講座内容

### 1 講座の目的・ねらい

私たちの生活は、植物・動物などたくさんの生きものをつなぐの恵みにより成り立っています。生きものたちが住む自然に感謝し、なぜ保全する必要があるのかを知り、考え、行動のきっかけをつくりまします。

### 2 内容

(1)～(3)から選んで講義できます。時間は目安です。ご要望に応じて内容の調整ができますので、事前にご相談ください。

#### (1)生きものをつなぐの大切さについて(約 20 分)

生きものたちがつながり合う豊かな自然から得られる多くの恵みによって、私たちの生活が成り立っていることや、私たちの生活が自然に与えている影響(危機)を受講者の皆さんと一緒に考えます。

#### (2)生きものをつなぐを考えるワークショップ(約 25 分)

- ・自然や動物のイラストを描いた紙コップを使って、屋内でも生きものをつなぐを体感できます。外来生物の勉強にも活用できます。
  - ・生物多様性まんだらカードゲームで連想ゲームをしながら私たちの生活が様々な自然の恵みとつながっていることを実感できます。
- ※人数が多いと時間がかかります。



#### (3)その他(大学生以上向け)

生物多様性に関する横浜市の施策・取組の説明も可能です。

問合せ先:みどり環境局環境活動事業課

TEL:045-671-2484 メールアドレス:mk-kyoiku@city.yokohama.lg.jp

# B-1 海の森からの贈り物 海を学ぼう

## ～楽しい海藻アート教室～

講義担当:海藻おしば協会神奈川

講座対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校低学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	総合学習・社会(漁業)・理科(光合成)・国語(海藻押し葉の場合手紙の書き方)		
関連のあるSDGsのゴール	14・15	オンライン授業	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日(要相談) <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	9時から17時(夜は要相談)		
年間実施上限数	特になし(可能な範囲で対応)		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(教室・体育館 人数に応じて ) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ(海藻おしば→水場が近い事理科室・家庭科室など。海藻万華鏡→教室・体育館など ) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	60～90分(要相談)		
実施条件、必要な準備等	映像やスライドがあるためスクリーン(モニター)・プロジェクターなど		

### 講座内容

#### 【レクチャー】

普段食卓にもあがる海藻は、海の中で森を作る。その森は、海の生き物にとって重要な役割をしている。私たちが生きる上でも重要な存在である。この講座は、海の森の大切さ、海・川・山自然のつながりをクイズや水中映像:ようこそ海の森へ(11分)を使用し楽しく海の環境学習を目的としている。

※年齢層に合わせ海の自然に興味関心を持ってもらうように実施



#### 【工作体験】

講師が事前に浜辺で拾った漂着海藻を使用して海藻アート楽しむ。海藻おしばのポストカード作り又は乾燥の海藻素材を使用し海藻万華鏡作りを実施する。

※講義と工作の2本立てであるが、海のお話の部分だけでも可能

工作体験だけは実施していない。海・自然を学ぶことを目的としている。

※材料費 別途必要



問合せ先:海藻おしば協会神奈川 TEL:090-3472-2034

メールアドレス:kaisou048kyoukai@gmail.com

# B-2 出張 下水道場

～調べてみよう！トイレの先続く道～

講義担当：下水道河川局水質課

講座対象者	<input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input type="checkbox"/> 小学校中学年 <input type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	長期休みのイベント等		
関連のあるSDGsのゴール	6, 14	オンライン授業	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	10時～17時		
年間実施上限数	月1回まで(それ以上は応相談)		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(屋内:パソコン・プロジェクターが使用できる部屋) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ(屋内:顕微鏡観察ができる部屋) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	60分		
実施条件、必要な準備等	・顕微鏡や模型を置くための机、電源、水道の準備をお願いします。 ・Wi-Fiルーター、PC、プロジェクター(またはモニター)をご用意いただければ、オンライン対応可能です。		

## 講座内容

### 1 講座の目的・ねらい

普段意識することのない下水道が、私たちの生活に深く関わり、大事な役割を果たしていることを学びます。下水道を身近なものと感じてもらい、水環境への興味をいっしょに育てていきます。

### 2 内容

#### (1) 講義(約15分)

アニメーションを使用して低学年の児童にも分かりやすく、下水道の役割と私たちの生活との関わりを説明します。

#### (2) 顕微鏡観察(約15分)

汚れの浄化に大きくかかわっている微生物を、単眼顕微鏡を使ってビンゴゲームをしながら観察してもらいます。

※オンライン授業ではライブ配信または動画配信を行います。

#### (3) 実習(約15分)

トイレトーパーやティッシュペーパー等の水への溶け方の違いを実験します。

※オンライン授業では実験キットを送付いたします。



顕微鏡観察の様子

問合せ先：下水道河川局水質課 TEL:045-621-4343

メールアドレス: [gk-sui-chousa@city.yokohama.lg.jp](mailto:gk-sui-chousa@city.yokohama.lg.jp)



## B-4 「身近なしぜんのおそび方」

～足もとの植物と友だちになろう～

講義担当:NPO 法人街カフェ大倉山ミエル

講座対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校低学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	幼稚園・保育園の野外体験活動、小学校 1・2 年のせいかつ、小学校3年生以上の総合(草木染め、宿泊体験学習の野外レク)、その他育児サークルの外遊び		
関連のあるSDGsのゴール	15	オンライン授業	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input checked="" type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	9:00～17:00 頃		
年間実施上限数	なし		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input type="checkbox"/> 講義( ) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ( 下見をした上で相談 ) <input checked="" type="checkbox"/> 自然体験( 校庭や公園等 )		
講座所要時間	1～2 時間		
実施条件、必要な準備等	必ず打合せ・下見を実施します		

### 講座内容

#### ◆ねらい

普段行く公園で、五感を使って自然と触れ合う。  
自然に対する「新しい視点」を楽しみながら身につける。

#### ◆内容

都市公園でもできる、その場だからこそできる自然体験を中心にプログラムを実施します。



食べられる実がなる樹木、毒のある草、においがする葉、つる植物など、基本的にその季節・その場にある自然物を使用し、自然の不思議に触れる、季節を感じるアクティビティを行います。  
野外体験指導経験豊富な森林インストラクター・自然あそびインストラクターが自然でのあそび・学びに同行します。

問合せ先:NPO 法人街カフェ大倉山ミエル TEL:090-1450-0093

メールアドレス:miyo@dongrisizenasobi.com

## B-5 まちの中の森づくり活動

～木の働きや、木を使うことの大切さを知ろう！～

NPO 法人こどもリクラブ

講座対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校低学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	小1～6年 生活科、『横浜の時間』		
関連のあるSDGsのゴール	12	オンライン授業	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input checked="" type="checkbox"/> その他(火・木曜日のいずれか)		
対応時間	10時～16時		
年間実施上限数	5回		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(パソコン・プロジェクターが使える教室、視聴覚室など) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ(木に親しむ体験として「木を磨く体験」をします) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	45分		
実施条件、必要な準備等	・お伺いするのに1時間以上かかる場合は、オンラインでの講座をお願いします。		

### 講座内容

#### 1. 本講座の目的・ねらい

『循環する森』をキーワードに、木の良さや働きを知るだけでなく、日々の生活の中で木を使っていくことの大切さを伝えます。本講座を通して、自然環境・地球環境に対して興味関心を持つきっかけを与えて、実際に自然環境に働きかけをしていけるようになることを目指しています。

#### 2. 講座の内容

森林から適切な時期に、適切な量の木材を切り出すことで、森林の新陳代謝を促すとともに、まちの中に森林機能を再現し、CO<sub>2</sub>の削減に貢献することをわかりやすく説明します。

#### 3. 講義の形式

・クイズを盛り込んだ内容、パネルを使っての視覚からの学び等、退屈しない工夫をしています。(約20分)

・小さな木の切れ端(木っ端)を紙やすりで磨く体験をします。磨いていく過程での、木の温もりや香り等を実際に感じてもらいます。木っ端には、後から色を塗ったり絵を描いたりして、穴を開けてひもを通せば、自分だけのオリジナルストラップに仕上げられる楽しみもあります。木の枝で作った木琴の音色も楽しめます。(約25分)



問合せ先:NPO 法人こどもリクラブ TEL: 045-771-3143



メールアドレス:kanagawa@kodomoriclub.jp



# B-7 「横浜の海と海の生き物たち」

～横浜の海を知ろう、海を身近に感じよう！～

講義担当:みどり環境局環境科学研究所

講座対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校低学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	生活科:身近な自然の観察(小学校1～2年)、理科:身の回りの生物(小学校3年) 道徳:自然愛護、生命の尊さ(小学校1～6年)		
関連のあるSDGsのゴール	12, 14	 	オンライン授業 <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (土曜日の開催については応相談)		
対応時間	9時～17時		
年間実施上限数	5回(日程次第で5回以上の開催可)		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(屋内:パソコン、プロジェクターが利用できる教室、会議室等) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ(まちがい探しゲーム、魚釣りゲーム等) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	45分～60分		
実施条件、必要な準備等	パソコン、プロジェクターの設備があることが望ましいです (プロジェクターがない場合講師が持参することも可能です)。		

## 講座内容

### 1 本講座の目的・ねらい

横浜の海とそこに棲む生き物についての講義やクイズ、ゲームなどを通じて、海に対する興味を引き出すとともに海の環境問題について考え行動するきっかけをつくります。

### 2 内容(実施時間にに応じて内容、時間を調整します。)

#### (1)【講義】《パワーポイント》横浜の海はどんなところ?(20分)

- 1.横浜の海の生き物(よく見られる生き物、面白い生き物)
- 2.横浜港の環境問題

#### (2)【講義】みんなで考えよう!横浜の海(15分)

海の環境問題についてクイズを出して、理解を深めてもらいます。

○出前講座の方法によって以下の【実習】の内容が変わります  
 ご依頼の際に選択してください。

#### (3)【実習】1分クイズ!どこかわるかな(10分)

「間違い探しゲーム」を通じて、楽しみながら横浜の海の生き物について学んでもらいます。

#### (4)【実習】横浜の海の魚を釣ってみよう(15分)

※オンラインの場合は実施できません

「魚釣りゲーム」を通じて、楽しみながら横浜の海の生き物について学んでもらいます(人数次第でグループを分ける等の対応をします)。

※可能な限りご希望に添えるように検討しますので、気軽にご相談ください



授業スライド



魚釣りゲーム



オンラインでも可能です!

問合せ先:みどり環境局環境科学研究所 TEL:045-453-2550

メールアドレス:mk-kanken@city.yokohama.lg.jp

## B-8 水循環から学ぶ「下水道の役割を体験・実験・大発見」

～みんなのうんちがエネルギーに～

講義担当:月島 JFE アクアソリューショングループ

講座対象者	<input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校中学年 <input type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	小学4年生 社会科 環境教育		
関連のあるSDGsのゴール	6,7,14	オンライン授業	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	10時～15時		
年間実施上限数	2回		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(室内:パソコン、プロジェクターが使用できる教室や実験ができる理科室を使用します ) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ(微生物観察、炭で電気をつくろう、トイレトーパーとティッシューパーの違実験) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	90分(基本講座は90分ですが、45分講座への対応も可能です)		
実施条件、必要な準備等	プロジェクター、スクリーンの借用を希望いたします。		

講座内容
<p>1. 本講座の目的、ねらい</p> <p>日常生活であたりまえのように使っている水道や下水道。生活に無くてはならない水インフラです。その水インフラの重要性を知ってもらい、社会の一員として水循環や環境との関わりが大事であることを意識してもらうとともに、下水道の役割や下水汚泥(廃棄物)から電気が生まれていることを知ってもらう。</p> <p>2. 内容</p> <p>下水道に関する実験などを取り入れながら、講師と生徒の皆さんがコミュニケーションを取りやすい授業を進めます。</p> <p>(1) 全体講義 水循環と上水、下水道 15分</p> <p>(2) 水をきれいにするおはなし 20分</p> <p>a. 下水道の役割 b. 下水がきれいになるしくみ c. 微生物観察</p> <p>(3) エネルギー化のおはなし 20分</p> <p>a. エネルギー製造について b. エネルギーの有効利用</p> <p>c. 炭で電気が生まれる実験</p> <p>(4) おうちへのお願い 20分</p> <p>a. トイレに流してよいのはどっち(トイレトーパーorティッシューパー)</p> <p>b. オイルボールとは</p> <p>※(2)から(4)について、生徒が多い場合は20～30名のクラスに分かれローテーションいたします。特に、実験や観察を取り入れており、楽しく学べる講座を目指しております</p>

問合せ先:月島 JFE アクアソリューション(株) TEL:03-5560-6031

メールアドレス:t arai@tjas.co.jp



# B-10 「よこはまの川」ってどんな川？

～もっと知りたい身近な川のこと～

講義担当：下水道河川局河川流域調整課

講座対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校低学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	3年生、4年生「総合的な学習の時間」		
関連のあるSDGsのゴール	13・14・15	オンライン授業	<input checked="" type="checkbox"/> 可(要相談) <input type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	平日 9時～17時		
年間実施上限数			
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(パソコン、プロジェクターが利用でき、明るさが調節できる部屋を使用) <input type="checkbox"/> ワークショップ( ) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	45分～90分の範囲で対応させていただきます。ご相談ください。		
実施条件、必要な準備等	パソコン、プロジェクター、スクリーン		

## 講座内容

「人と川とのかかわりを学び、良好な河川環境の大切さ、洪水時の危険性などについて学びます」



対面形式の様子



オンライン形式の様子

### 【講座内容】

1. 世界の川、日本の川、横浜の川
2. 学校の近くを流れる川と生き物
3. 川の役割(治水・利水・環境)
4. 大雨(ゲリラ豪雨など)の時の川の様子
5. 洪水から街を守る仕組みについて
6. 川の環境を考える(川の環境の再生と保全)
7. 川に棲む多様な生き物
8. 川を綺麗にする取り組み

### 【特徴】

- \*豊富なイラストや写真、グラフなどにより、わかりやすく各学年や年齢に応じた説明をします。
- \*テーマに沿ったクイズや質問を取り入れ、分かりやすく、楽しく、直接問いかけます。
- \*近隣の川の源流、生き物、川遊び、洪水の恐ろしさ等について学べます。

**川クイズ!**  
よこはまし  
横浜で一番大きな川は?

? 1. いたち川  
2. おおおか川  
3. つるみ川  
4. かたびら川 ?

**答え**  
つるみ川 (鶴見川)

川のやくわり

問合せ先：下水道河川局河川流域調整課 TEL:045-671-4215

メールアドレス: [gk-riverkikaku@city.yokohama.lg.jp](mailto:gk-riverkikaku@city.yokohama.lg.jp)



# C-1 「カードゲームで体験♪SDGsの世界」

## ～2030SDGs カードゲーム～

講義担当:生活協同組合パルシステム神奈川

講座対象者	<input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	小学 5・6 年:「特別活動」「総合」身近な自然環境と環境問題、家庭科「総合」 中高大学:「総合」職業の選択と社会貢献 先生を対象にした研修に活用など		
関連のあるSDGsのゴール	すべて	オンライン授業	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	9時～17時		
年間実施上限数	制限なし		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(パソコン、プロジェクタ(TV)が利用できる教室、体育館など) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ(グループに分かれてカードゲームを実施) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	90分～120分		
実施条件、必要な準備等	パソコン、プロジェクタ(もしくはテレビ)、机の準備をお願いします。 事前打合せをオンラインにてお願いします。30分程度。		

### 講座内容

#### 1. 講座のねらい

ゲームを通して、自分の行動や選択が世界に影響を与えることができる実感をしていただきます。さらに、SDGsの目標達成には、ほかの人々と協力することが必要だという気づきが得られます。また自分から考え、行動をおこしていくことの楽しさを体験していただきます。

#### 2. 内容

##### ① 導入 (25分)

- ・SDGsの説明(SDGs策定の背景)
- ・ゲームのルール説明

##### ② 発展 (35分)

- ・SDGsカードゲーム (前半10分)
- ・中間発表 ※ゲームの状況を解説、課題をピックアップ (5分)
- ・SDGsカードゲーム (後半15分)
- ・結果発表 (5分)

##### ③ まとめ (30分)

- ・各グループで振り返り (10分)
- ・全体共有 (15分)
- ・目標シート配布・説明 (5分)

※この授業を受けて、今後、自分にどういう行動ができるのか、やってみたいのかを考えてもらう(宿題もしくは次回の授業等で実施)ためのシートを配布します。【詳細は応相談】

※講座の詳細に関しましては下記HPに掲載しております。

<https://www.palsystem-kanagawa.coop/about/sdgs/>


問合せ先:生活協同組合パルシステム神奈川 TEL:045-470-6863

メールアドレス:palkana-chiiki@pal.or.jp

# C-2 「音」とくらし

## ～音のふしぎを体験してみよう～

講義担当:横浜市みどり環境局 大気・音環境課

講座対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校低学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	生活、理科、横浜の時間、夏休みの自主研究のイベント		
関連のあるSDGsのゴール	4, 11	 	オンライン授業 <input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	9時～17時		
年間実施上限数	5回		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(音が聞こえるしくみなど ) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ(糸電話の製作など ) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	45～90分(ご要望に応じて調整します)		
実施条件、必要な準備等	応相談		

講座内容
<p><b>■本講座の目的・ねらい</b> 糸電話を自分で実際に作り、音に関する楽しい体験をしながら音のしくみ、大きさ、種類、音の感じ方等、音に関する知識を身につけ、音や身の回りの環境問題に気づき、理解と関心を持ってもらう。</p> <p><b>■内容</b>            (1) 講義(約10～20分:PowerPoint 使用)            音とは何か、音が聞こえるしくみ            音の単位(デシベル)などの解説など            実際に騒音計を触って体験していただけます。</p> <p>(2) 実習(約30～60分、内容は取捨選択可能)            糸電話、針金電話、風船電話を作り、音質、音量を比較確認する            パソコンを用いて音(モスキート音)を聞いてみる</p> <p>(3) まとめ(約5～10分)            実習・体験のまとめ            普段の生活のおいての音で迷惑をかけないためのルールについて</p>

問合せ先:みどり環境局 大気・音環境課 TEL:045-671-2485

メールアドレス:mk-souon@city.yokohama.lg.jp

# C-3 SDGsと食品ロス～今すぐできる食品ロス削減～

講義担当:松島麻美(サステナビリティ教育研究会)

講座対象者	<input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	小3,4年社会「廃棄物の処理」6年理科「自然環境を大切にする」 5,6年家庭科「環境に配慮した家庭生活の工夫」5,6年道徳「自然環境を大切に」 小3-6年,中学生総合「ESD」6年「平和スピーチコンテストの導入」など		
関連のあるSDGsのゴール	全て	オンライン授業	<input checked="" type="checkbox"/> 可(校内配信拠点から各クラスへの配信授業の実績あり) <input checked="" type="checkbox"/> 不可(校外拠点からの配信は不可)
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	9時～15時		
年間実施上限数	5回		
講座実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(プロジェクターかテレビがある教室) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ(グループ内活動)		
講座所要時間	40分×2コマ、または、45分×2コマ		
実施条件、必要な準備等	○スライドをうつすプロジェクターまたはテレビ、HDMIコード		

## 講座内容

### 2025年度実績:5校

#### 1 講座の目的・ねらい

横浜市内の学校で学校司書として勤務しているバックグラウンドを活かし、子どもに寄り添った言葉でSDGsを説明。カードゲームを通じて、つついちゃってしまふ食品ロス行動に気付き、その対策を話しあい、子どもの行動変容、継続的な習慣化を狙う。食品ロス対策がSDGsに繋がることを理解してもらう。

#### 2 内容

導入:発展途上国の様子が写っている写真絵本を見せ、SDGsを説明。

①SDGs12「つくる責任つかう責任」に意識を向け、自分たちにできることのうち「食品ロス削減」にフォーカスする。

②食品ロスの概要説明。

④グループ内でカードゲーム

つついちゃってしまふカード、食品ロス対策カードについて説明する際、講師の具体的なエピソードを話すことで、子どもたちの身近な食品ロス体験や具体的な対策意見を引き出す。

⑤まとめ、感想発表、アンケート記入

※当該クラスの実態、先生のご要望に合わせて内容をカスタマイズできますので、事前打合せの際に希望をお聞かせください。



1.食品ロスにつながる行動～つついちゃってしまふ～



# C-4 地球温暖化で天気が変わっている！

## 大雨への備えを考えよう

特定非営利活動法人 気象キャスターネットワーク

講座対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校低学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	3～6年生(総合的学習の時間)環境 4年生(社会)自然災害にそなえるまちづくり 5年生(社会)自然をともに守る/ 環境をともに守る 5年生(理科)流れる水と土地 / 天気の変化 6年生(理科)人と環境		
関連のあるSDGsのゴール	 	オンライン授業	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input checked="" type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他( 曜日)		
対応時間	9時～17時		
年間実施上限数	なし		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義( 教室・体育館など ) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ( 教室・体育館など ) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	45分(1コマ)		
実施条件、 必要な準備等	プロジェクター、スクリーンまたは大型テレビ、筆記用具		

講座内容	
<p>1. 講座の目的・ねらい</p> <p>地球温暖化によって、近年大雨の被害が増えています。地球温暖化について学び、大きな災害に備えるために、マイタイムラインを作成しましょう。</p> <p>2. 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2100年未来の天気予報</li> <li>・突然の大雨に注意</li> <li>・大きな災害に備えるために、マイタイムラインを作ろう！</li> </ul> <p>マイタイムラインを作ってみよう</p>  	 

問合せ先:特定非営利活動法人 気象キャスターネットワーク

メールアドレス:wcn-info@weathercaster.jp

# C-5 日産わくわくエコスクール

～地球温暖化と電気自動車～

講義担当:日産自動車株式会社

講座対象者	<input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	小5年社会「我が国の工業生産」、小6年理科「電気の利用」、小5～6年「横浜の時間」		
関連のあるSDGsのゴール	4, 9, 11, 13	オンライン授業	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	9時～16時		
年間実施上限数	45		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義( ) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ( ) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	1クラス 135分～(クラス数によって変わります) ※短縮コースもございます。詳細は事務局にお問い合わせください。		
実施条件、必要な準備等	スクリーン、または大型モニターを借用したくお願いいたします。電気自動車に試乗する場合は学校敷地内で走行可能な場所の占有が必要となります。		

## 講座内容

【講義】温暖化問題と電気自動車について or クルマ社会の問題と解決する為の新技术座学

【電気自動車実験】電気自動車のモデルカーを使用した発電・走行実験

【電気自動車試乗・見学】受講児童全員試乗 または見学のみ(コースによって異なります)

※詳細は事務局にお問い合わせください。

### ◆学習の狙い◆

「なぜ日産は走行中に二酸化炭素を出さない電気自動車を作り、普及拡大に取り組んでいるのか？」

背景となる地球温暖化のしくみやリスク、持続可能な社会を目指す企業や世界の取組みを紹介し、これからの未来を担う児童の皆さんに私たち一人ひとりに何ができるのかを問いかけます。

環境技術への興味を促し、未来を作る！というメッセージを伝えます。



講義の内容に関するお問い合わせ先 日産わくわくエコスクール事務局 TEL:045-285-2355

HP:<https://www.nissan-global.com/JP/SUSTAINABILITY/SOCIAL/CITIZENSHIP/ECO-SCHOOL/>

問合せ先:日産わくわくエコスクール事務局 TEL:045-285-2355

メールアドレス:wakueco@nissan-nics.co.jp





# C-8 「世界の環境を SDGs で良くする」

～JICA 海外協力隊派遣タイ・日本・世界の環境を SDGs で良くする～

講義担当:米田健一(NPO 法人シニアボランティア経験を活かす会)

講座対象者	<input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	小学 5・6 年「社会科」、中学1～3年「SDGs」、高校1～3年生「SDGs と国際理解」		
関連のある SDGs のゴール	12,13,14,15	オンライン授業	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input checked="" type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	10 時～17 時		
年間実施上限数	3 回(日程があえば 3 回を超えても開催できる場合があります)		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(パソコン、プロジェクターが利用できる教室、会議室等) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ(下記(4)の環境を守る取り組みを一緒に考える) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	45～90 分		
実施条件、必要な準備等	パソコン、プロジェクター、スクリーン、体育館での場合マイクの準備をお願いします。		

## 講座内容

### 1. 講座の目的・ねらい

私たちの生活環境は、世界の環境とつながっており、地球 46 億年前から現在そして将来の地球を考えて、持続可能な地球にするには、私たちは何をすればよいか、一緒に考えてみよう。

### 2. 内容

(1) 今後世界が発展していくための持続可能な開発目標(SDGs)の内、環境と関連深い 6 項目について、日本、タイの現在の問題点を分かり易く説明する (15 分)

(2) JICA 海外協力隊派遣国タイの暮らし・文化 (20 分)

国旗、結婚式、ソンクラン(水かけ祭り)、アカ族の家に宿泊、タイ料理、タイ果物、タイ語等

(3) タイで JICA 海外協力隊としての SDGs 活動 (10 分)

(4) 日本で環境を守るための課題は、SDGs13,14,15 で地球温暖化と生物多様性を、一緒に考える (10 分)

(5) 小学生、中学生、高等学校生以上の 3 グループは、各々次の様な事を行う。(15 分)

- 小学生は、タイの子どもの遊びの内、気軽にできる紙飛行機をみんなで作り、飛ばす
- 中学生は、タイの環境省地域事務所での講師の仕事を音楽と共に動画で鑑賞する。
- 高等学校生以上では、(4)(5)を、ワークショップで行う。

授業時間が、45 分の場合は、(4)を 3 分程度として、(2)を 17 分で行い、(5)はやりません。

90 分頂ける場合は、(1)～(4)の各項目を、5 分程度延長します。

いずれの場合も、時間配分と上記(1)～(5)の項目は先生と相談して、決めたいと思います。



タイの分別しない  
ごみ処分場で課題が多い

問合せ先:NPO 法人シニアボランティア経験を活かす会 TEL:080-9297-2801

メールアドレス:kenichi yoneda2000@ymail.ne.jp

# C-9 気候変動で発生する自然災害と対策

～災害大国日本の JICA から派遣された国で取り組んだ災害対策～

講義担当:前川貴夫(NPO 法人シニアボランティア経験を活かす会)

講座対象者	<input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	小学 5・6 年「社会科」、中学1～3年「SDGs」、高校1～3年生「SDGs と国際理解」		
関連のある SDGs のゴール	11, 13, 15, 17	オンライン授業	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input checked="" type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他( 曜日)		
対応時間	10 時～17 時		
年間実施上限数	日程があれば上限はありません		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(教室、会議室等) <input type="checkbox"/> ワークショップ( ) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	45～100 分(最長 100 分には質疑時間を含む)		
実施条件、必要な準備等	プロジェクターとスクリーンまたは大型モニター、体育館で実施の場合はマイクとスピーカーの準備をお願いします		

## 講座内容

### 1. 講座の目的・ねらい

JICA から派遣されたモロッコは砂漠が多く基本的に乾燥しているが、年に数回の洪水を伴う豪雨により人的被害が発生していた。同じくマレーシアは熱帯性の気候により洪水を伴う人的被害が多発していた。災害大国の日本からネットワーク通信技術を紹介する立場で両国へ派遣され、各種センサーにより収集した情報から避難警報を伝達するネットワーク構成まで、システムを試作して地元自治体にも防災体制の向上を働きかけてきた経過を SDGs 目標 13:「気候変動に具体的な対策を」との関係を中心に紹介する。

### 2. 内容

- (1) 自己紹介と日本国内での自然災害の被災経験について(10分)
- (2) モロッコの暮らしと文化について(10分)
- (3) モロッコの自然災害への対策および日本からの支援について(20分)
- (4) マレーシアの暮らしと文化について(10分)
- (5) マレーシアの自然災害への対策および試作した洪水予知警報システムについて(20分)
- (6) 日本で皆さんに求められる自然災害への対策について(20分)



最後の項目の時間については参加者、学生、生徒の皆さんの意見も踏まえて、柔軟に対応できると考えている。

<モロッコの洪水警報システム>

問合せ先:NPO 法人シニアボランティア経験を活かす会

メールアドレス:jicasvobedu@gmail.com

# C-10 快適な住まい方を考えよう！

～自然を活かして涼しく(暖かく)住むには、どうしたらいいのだろう～

講義担当:こどものためのオープンハウス

講座対象者	<input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	小5～6年(要相談)小学校5～6年家庭科「快適な住まい方を考えよう」		
関連のあるSDGsのゴール	7, 11, 13	オンライン授業	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他( 曜日)		
対応時間	9時～17時		
年間実施上限数	1回		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(屋内:パソコン、プロジェクターが利用できる教室、会議室等) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ(涼しいところ、暑いところ探し。熱の移動の実験等) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	45分～90分		
実施条件、必要な準備等	学んだことを、その先にどう発展させるのかなど、事前に打ち合わせをし、それに向けて対応したいと思います。 説明はパワーポイントで行いますが、設備がなくても対応は可能です。 実験に使用する計測機器(放射温度計)などは、こちらで用意します。 ※時間や内容、お気軽にご相談ください。		

講座内容
<p>どんなときに人は涼しい・温かいと感じるのか？            様々な実験と体感を通じて、その仕組みを学びます。            また、蒸発や放射などの熱の伝わり方の基本を知ること、            エアコンに頼らなくても学校や家で快適に過ごすための知識を身につけることができます。            将来、子どもたちが自発的に環境に優しい行動を行うきっかけになり得る授業です。</p> <p>※夏バージョンの例です。</p> <p>&lt;展開1&gt;涼しいところはどんなところ？            ・涼しいところ、暑いところを探し、涼しさ暑さを実感する。            ・体感と計測で、その違いとその理由を学ぶ。</p> <p>&lt;展開2&gt;自分自身を涼しくする方法を考えてみよう。            ・様々な実験により、涼しくする方法を体感する。            例)霧吹きとうちわを使った蒸発の実験</p> <p>&lt;展開3&gt;家を涼しくする工夫を考える。            ・家を涼しくするためのポイントを実験や映像で確認する。            ・家を涼しくする工夫について、実例から学ぶ。</p> <p>※上記は過去の事例です。            ※同じ様な流れで冬バージョンもあります。            ※授業用に学ぶことができる先生向けの講座のご用意もあります。</p>





問合せ先

建築局建築企画課 TEL:045-671-4526 メールアドレス:kc-casbee@city.yokohama.lg.jp

# C-11 「よこはまの暑さを学ぼう」

～暑さの原因を知り、自分たちのできることを考えよう～

講義担当:みどり環境局環境科学研究所

講座対象者	<input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	「理科」、「総合的な学習の時間」		
関連のあるSDGsのゴール	11, 13  	オンライン授業	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	9時～16時		
年間実施上限数	4回(7～9月は業務繁忙のため、お受けできない場合があります)		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(屋内:パソコン、プロジェクターが利用できる教室等) <input type="checkbox"/> ワークショップ( ) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	45分程度(要相談)		
実施条件、必要な準備等	PC(パワーポイントが起動するもの)、スクリーン(モニター)、プロジェクター		

## 講座内容

### 1 本講座の目的・ねらい

地球温暖化などの気候変動やヒートアイランド現象の影響により、横浜の夏の暑さが厳しさを増しています。熱中症にならないためには、日頃から暑さに備える工夫をすること(暑さに適応すること)が必要です。

本講座は、暑さにまつわる様々な内容の理解を深める講義を通じて、暑さに適応していくために自分たちがこれからできることを考えるきっかけを作ることを目的としています。

### 2 内容

簡単なクイズを交えながら講義を行います。ご要望に応じて内容を調整しますので、お気軽にご相談ください。

<例>

- 地球温暖化やヒートアイランド現象のメカニズム
- 横浜市の暑さの現状について
- 気候変動対策(緩和策・適応策)やヒートアイランド対策
- 環境科学研究所が行っている暑さに関連した調査結果
- 身近で実践できる暑さ対策の紹介

着る洋服の色でも表面温度に違いが...?!

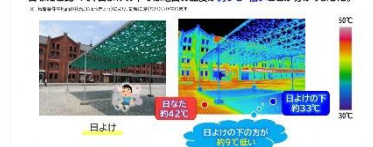
着る洋服の色でも、服の表面温度に違いがあることが分かりました。次の3つの中で、最も表面温度が高かった色はどれでしょう?



1 青色 2 濃い緑色 3 黒色

日よけは直射日光を遮り、地面の温度上昇を防ぎます

日なたと比べて、日よけの下では地面の温度が約9℃低いことが分かりました。





問合せ先:みどり環境局環境科学研究所 TEL:045-453-2550

メールアドレス:mk-kanken@city.yokohama.lg.jp

# C-12 「海洋プラスチック・マイクロプラスチック問題 について考えてみよう」～ここ横浜ではどうなっているの?～

講義担当:みどり環境局環境科学研究所

講座対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校低学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	小学校:「生活」、「理科」、「社会」、「家庭」、「総合的な学習の時間」 中学校:「理科」、「社会」、「技術・家庭」、「総合的な学習の時間」		
関連のあるSDGsのゴール	 	オンライン授業	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	10～16時		
年間実施上限数	応相談		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(屋内:パソコン、プロジェクターが利用できる教室、会議室等) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ(同上) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	45～90分(時間は応相談)		
実施条件、必要な準備等	パソコン(パワーポイント)、プロジェクターの設備があることが望ましいです。ない場合は紙資料で実施します。		

## 講座内容

### 1 本講座の目的・ねらい

海洋プラスチック・マイクロプラスチック問題について基本的なことを学び、私たちにどのようなことができるのかを一緒に考えていきます。

### 2 内容(実施時間に応じて内容、時間を調整します。)

(1)【講義】《パワーポイント》海洋プラスチック・マイクロプラスチック問題とは(30分程度)

海洋プラスチック・マイクロプラスチック問題について、基本的なことや世界の動向、横浜の実態をお伝えします。また、この問題について、私たちにどのようなことができるか一緒に考えます。

※ご要望に応じてグループディスカッションによる討議も行います。

(2)【実習】マイクロプラスチックを観察してみよう(15分程度)

環境科学研究所で実施している海岸のマイクロプラスチック調査の模擬体験を行います。

実際の横浜の海岸の砂の中から、マイクロプラスチックを探し、観察・記録してもらいます。実習を通じて、この問題について理解を深めます。

※小学校低学年向けに内容の変更が可能です。お気軽にご相談下さい。



問合せ先:みどり環境局環境科学研究所 TEL:045-453-2550

メールアドレス:mk-kanken@city.yokohama.lg.jp



# D-1 体感!ペットボトルの3R と地球温暖化

## ～ペットボトル工作で遊ぼう～

講義担当:特定非営利活動法人かながわ環境カウンセラー協議会

講座対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校低学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	小学校総合学習の時間、小学校高学年社会科		
関連のあるSDGsのゴール	11、12、13、14、15	オンライン授業	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input checked="" type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	9時～16時		
年間実施上限数	6		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(パソコン・プロジェクターが利用できる教室等) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ(教室内で、ペットボトルを使った工作とそれを使った遊び、比重分離実験。水が必要です。) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	90分(45分×2)		
実施条件、必要な準備等	パソコン、プロジェクターと大形スクリーン、陳列用テーブル、マイク		

### 講座内容

#### 1. 講座の目的

私たちはプラスチックを使い、使用後ごみとして捨てています。プラスチックは、地球温暖化や海の汚染の原因の一つです。人体への悪影響も懸念されます。横浜市の3R 夢プランに沿って、プラスチックごみを減らすための3R を講義とペットボトルを使った工作で理解し、日常の生活に活かしてもらおう。

#### 2. 内容

##### 1) 講座の展開

プラスチックごみがあふれている現場や苦しんでいる海の生き物を写真で知る。ゴミを減らす3Rの方法の説明と分別の例としてペットボトルに使われている3種類のプラを実験で分ける。

飲料メーカー・コンビニがペットボトルリサイクルに努力していることを伝える。

ペットボトルを使って、2つの工作を体験する。(浮沈子とミニ空気砲)。最後に、工作物を使ってみんなで工夫して遊ぶ。

2) 講座のおすすめポイント: 座学に加え、クイズ、実験や工作体験を通して、気づきを得る。

##### 3) 学びのポイント

- ① 海に流れ込んだプラスチックが、生き物を苦しめたりすることを知る。
- ② プラスチックを分離する実験を通して、水に浮くものと沈むもので分けられることを学ぶ。
- ③ プラスチックを燃やす CO<sub>2</sub> が発生し、地球温暖化につながることを学ぶ。
- ④ 使い終わったペットボトルをリユースして、工作物で楽しく遊べることを、体感する。



問合せ先:かながわ環境カウンセラー協議会 大竹 順之 TEL:090-5781-5125

メールアドレス:otakem65@keb.biglobe.ne.jp





# D-4 身近なことからゲーム感覚で学ぶ 地球環境問題、SDGs

[全員参加型授業]

講義担当:NPO 一緒に楽しく

講座対象者	<input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	総合学習、理科、社会、家庭		
関連のあるSDGsのゴール	3, 4, 6, 7, 13, 14, 15, 16, 17他	オンライン授業	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	8時半から17時		
年間実施上限数	8回		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義( パソコン、大型画面を利用できる教室等 ) <input type="checkbox"/> ワークショップ( ) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	45分×2 又は 40分×2		
実施条件、必要な準備等	パソコン、プロジェクター又は大型画面の準備をお願いします		

講座内容	
1. 授業の目的・狙い・方針	<p>狙い：ESD for 2030 の実践            目的：持続可能な明るい社会実現のために、自分ごととして考えること。そのために、            (1)分かりやすく平易に説明、 (2)楽しい授業、            (3)世界にも目を向け、必要性を理解、 (4)身近なことから学ぶ。            (5)資源を大切に暮らす暮らし方(風呂敷)            方針：難しいことは分かりやすく、やさしいことはより深く説明する。            一人も残さず、全員が発言できる場を作る。 児童の発言は一切否定しない。</p>
2. 内容	<p>1)身近なことから話を進め、台風の大型化などに話を広げる。SDGsは児童が理解できる項目に絞る。背景にある主な現状、そして将来予測などを理解する。SDGsの項目と地球環境問題との関連について考え、各自意見を言う。マグネット付きのSDGsアイコンカードを用いて、カードゲーム的に扱う。</p> <p>2)地球環境問題が様々なSDGs項目と深く関係していることに気づいてくれることが多い。</p> <p>3)身近にできる対策について考える。自分でも出来ることは何かかな？</p> <p>4)風呂敷包み体験。資源を大切に暮らす暮らし方として、使い捨てとしない暮らし方の一つを学ぶ。</p> <p>5)ふり返り 感想とこれから自分がやろうとすることを「まとめのシート」に書く。</p>
3. 期待すること	<p>「まとめのシート」を持ち帰ることによって、お家の方との会話を期待する。各家庭、各児童ができることを考える一助になることを期待。</p>



問合せ先:NPO 一緒に楽しく 担当:松野 TEL:070-5565-3912

メールアドレス:matasaburo-kaze@ymobile.ne.jp




# D-6 生ごみはコンポストでへらそう

## ～家庭で出来る SDGsの提案～

講義担当:(NPO ブルーアース)松岡 成典

講座対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校低学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	4年社会:廃棄物処理事業の理解と個人の貢献。		
関連のあるSDGsのゴール	12,13	オンライン授業	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input checked="" type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	9時～17時		
年間実施上限数	3回(時間が合えば追加が可能)		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(教室等。パソコン、プロジェクター使用) <input type="checkbox"/> ワークショップ( ) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	45分		
実施条件、必要な準備等	パソコン、プロジェクター。配布資料1枚事前印刷。		

講座内容	
1. 講座の狙い:神奈川県が生ごみの量とその処理費用、CO <sub>2</sub> 発生量を知る。また個人が出している生ごみをコンポストにするとどのくらい環境貢献出来るかクイズを通して学習し最後に自分ができる「環境宣言」を発表してもらう。	
2. 内容:生ごみに関するクイズを6問考えることで学習する。最後に自分ができる「環境宣言」を発表し家で実践してもらう。	
(1) 神奈川県の家系生ごみ:約40万トン/年。一人当たり43.2Kg/年	
(2) 神奈川県が生ごみ1トンの焼却処理費用は4万円。CO <sub>2</sub> 発生量は2.05トン	
(3) 全国の家系生ごみの調査実績は平均で75Kgです。これをゼロにすると? 焼却コスト節約は3,000円。CO <sub>2</sub> は約153kg削減。自家用車1台が1年間に出すCO <sub>2</sub> の約14%に相当。	
(4) 先生は二人で15年以上コンポスト処理してきました。車1台が1年に出すCO <sub>2</sub> の28%を削減してきました。	
【写真】コンポストと日々の生ごみ	

問合せ先:NPO ブルーアース TEL:045-774-3564

メールアドレス:seitenaz@gmail.com

# D-7 アルミ缶自動炊飯

～効率のいい燃焼。リサイクルの話～

講義担当:(NPO ブルーアース)松岡 成典

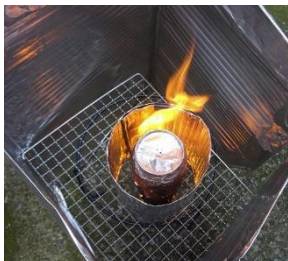
講座対象者	□小学校低学年 ■小学校中学年 ■小学校高学年 ■放課後施設利用児童 ■中学生 ■高校生 □大学生 ■地域一般		
授業活用例	6年燃焼の仕組み。4, 5, 6年社会的事業の見方考え方(リサイクル)		
関連のあるSDGsのゴール	12	オンライン授業	□可 ■不可
対応可能曜日	■平日 ■休日 □その他(曜日)		
対応時間	9時～17時		
年間実施上限数	3回(時間が合えば追加が可能)		
講座実施方法 ※( )は場所等	■講義(理科室、調理室。パソコン、プロジェクター使用) □ワークショップ( ) □自然体験( )		
講座所要時間	90分		
実施条件、 必要な準備等	パソコン、プロジェクター、水道。(道具等の詳細は事前打合せで提示します) ※裸火を使用するため事前の実演にて内容を確認いただき、実施の可否をご判断下さい。		

## 講座内容

1. 講座の狙い: 普段ゴミとして捨てている**アルミ缶と牛乳パックをコンロと燃料に加工**することで熱源として活用できることを知る。合わせて**アルミ缶と紙パックのリサイクル**について学ぶ。
2. 内容(1)本コンロを教材として**効率よく無煙で燃やす省エネ&低公害の仕組み**を学習する。  
(2)工作(個人)⇒アルミ缶でお釜を作る。牛乳パック1枚をロール状に加工する。  
注:中学生以上はコンロ作成も実施可能(小学生は提供します)  
(3)グループ⇒提供されたコンロにロール状の燃料を一つ入れてご飯を炊き試食する。  
(4)試食前の蒸らし時間でアルミと紙パックの**リサイクルの流れとリサイクル率**を学習する。  
(5)まとめ  
普段ゴミに出すアルミ缶や牛乳パックが簡単に加工できコンロとして活用ができる。  
自宅に必要量ストックし普段から活用。  
コンロは数回以上再利用できますが使えなくなったらリサイクルに出す。
3. ひとつこと:**ゴミでもひと工夫すれば立派なコンロとしてリユース**できる。  
★炊飯動画 URL:<https://www.youtube.com/watch?v=xNCvJWPhKr4>



炊飯動画URL



### 【注意事項】

裸火を使用するため必ず事前打ち合わせを行い、実際に炊飯して確認いただくと同時にチェックリストにて様々なリスクや消火栓の有無、消火器の確認等を行い実施させていただきます。

問合せ先:NPO ブルーアース TEL:045-774-3564





メールアドレス:[seitenaz@gmail.com](mailto:seitenaz@gmail.com)

# D-8 そのゴミ！ゴミじゃなあ～い！

## 分別するだけで地球が変わる

～令和のリサイクル技術と私達ができること～

講義担当:サステナビリティ教育研究会

講座対象者	<input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	近年ゴミの分別方法が変わったのでそのおさらいと、日本のリサイクル技術を知り、自分もそのリサイクルの過程の一人と自覚、横浜市のリサイクル向上を目指す。		
関連のあるSDGsのゴール	   	オンライン授業	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(できれば水曜日以外)		
対応時間	9:00～16:00		
年間実施上限数	3回ほど		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(簡単なシールカードを使ったゲーム) <input type="checkbox"/> ワークショップ( ) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	45分×2 2時限		
実施条件、必要な準備等	スクリーン、プロジェクター、付箋		

### 講座内容

#### 前半

- ①最近捨てたゴミを紙に書き出す
- ②ゴミの分別ゲーム(年齢層に合わせて難易度を調整)
- ③ゴミのリサイクル技術(神奈川県内企業)を知る
- ④サーキュラーエコノミー体験(住民、リサイクル会社など役をつくり、どの過程が止まっても循環できないことを知る)

#### 後半

- ①最近、修理したものを書き出す
- ②江戸時代の修理技術を知る。(例:焼きつきなど)
- ③江戸時代は竹など土に帰る物が商品だった。現代の竹の利用技術を知る、
- ④プラスチック製品が増えても考え方は江戸時代と同じ。リサイクルすることでゴミを減らす。
- ⑤ゴミを減らすことで街はどのように変わるか、気候変動対策になるか、地球はどう変わるかを考える。
- ⑥リサイクルを増やすために、何をすればよいかを考える。



問合せ先:サステナビリティ教育研究会 舞はるり TEL:090-9973-5511

メールアドレス:maiharuli3104@gmail.com



# D-10 飲料パックでコースターを作る

～地球温暖化を止める為、飲料パックを燃やさないでリサイクルする～

講義担当:米田健一(NPO 法人シニアボランティア経験を活かす会)

講座対象者	<input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	小学 5・6 年「社会科」、中学1～3年「SDGs」、高校1～3年生「SDGs と国際理解」		
関連のあるSDGsのゴール	12,13,14	オンライン授業	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input checked="" type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	10 時～17 時		
年間実施上限数	3 回(日程があえば 3 回を超えても開催できる場合があります)		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(パソコン、プロジェクターが利用できる教室、会議室等) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ(下記(4)の環境を守る取り組みを一緒に考える) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	2 コマ 90 分		
実施条件、必要な準備等	パソコン、プロジェクター、スクリーン、体育館での場合マイクの準備をお願いします。		

## 講座内容

### 1. 講座の目的・ねらい

廃棄物・資源循環及び地球温暖化防止の一つとして、家庭ごみとして焼却炉で焼却される飲み終わった飲料パックをリサイクルして、コースター、なべ敷、小物入れ等を作る。児童・生徒が廃棄物をリサイクルする事の大切さを学ぶ。

### 2. 内容

(1) 40名の児童・生徒は、1グループ5名8グループに分かれる。

(2) 講師がパワーポイントで次の事を説明する。(30分)

- ① 日本、世界がSDGs(持続可能な開発目標)の内、特に環境問題で遅れている課題
- ② 家庭ごみの分別により、ごみのリサイクルを進める事の大切さ
- ③ 廃棄物リサイクルとして飲料パックからコースター、なべ敷、小物入れ、エコ・バッグ等の作り方

(3) 講師は飲料パックからコースターを作る。(15分)

(4) 講師は、児童・生徒に飲料パックからコースターを作ることを指導する。(45分)

授業時間が1コマ45分しか取れない時は、児童・生徒が作るのは時間が足りないので、材料を講師が先生に渡して、後日先生と児童・生徒が、講師が説明した作り方のパワーポイントを見て、一緒に作るか等を、講師と先生が事前に話して決める。



左上:飲料パック 上中央:生徒がパックからコースターを作っている 右上:生徒が作ったコースター

以上

問合せ先:NPO 法人シニアボランティア経験を活かす会 TEL:080-9297-2801

メールアドレス:kenichi.yoneda2000@ymail.ne.jp



# D-12 3R とごみ問題について考えよう♪

～混ぜればごみ、分ければ資源！～

講義担当:生活協同組合パルシステム神奈川

講座対象者	□小学校低学年 ■小学校中学年 ■小学校高学年 ■放課後施設利用児童 □中学生 □高校生 □大学生 □地域一般		
授業活用例	小学校高学年「家庭科:環境に配慮した生活」「理科:生物と環境」「社会科:わたしたちのくらしとごみ」		
関連のあるSDGsのゴール	11, 12, 13, 14, 15	オンライン授業	■可 □不可
対応可能曜日	■平日 □休日 ■その他(月～金の祝日)		
対応時間	10時～15時		
年間実施上限数	年10回程度		
講座実施方法 ※( )は場所等	■講義(屋内:パソコン、プロジェクターもしくはTVが利用できる教室 ) ■ワークショップ(イラストが描かれたカードを用いて、3R のどれに当てはまるか考えるグループワーク )		
講座所要時間	45分 [講義(動画含む)30分・グループワーク15分]		
実施条件、必要な準備等	映写用スクリーンまたは、大きめのテレビ *スクリーンでスライド上映の場合は、プロジェクター		

## プログラム内容

### 1. 講座の目的・ねらい

身近なごみ問題の事例をとおしてごみ問題を自分ごととしてとらえ、3R の理解を深めたいうえで、これから自分たちにできることを考えるきっかけづくり。

### 2. 内容

- ・クイズ等を織り交ぜながら受講者の皆さんとコミュニケーションをとりながら進めます。
- ・受講対象年齢に応じて内容の調整ができますので、事前にご相談ください。

#### (1)前半:講義(30分)

パワーポイント(スライド)を使って、以下について説明。

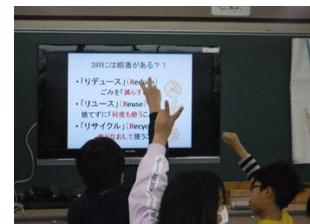
- ・身近なごみ問題を知る
- ・3R(リユース・リデュース・リサイクル)の説明

#### (2)後半:グループワーク(15分)

これまでごみとして捨てていたものを、どのようにすれば「リユース」「リデュース」「リサイクル」できるのかを考えます。

グループワークを通じて、実生活の中での3Rについての理解を深めてもらいます。

※パルシステムの3Rの動画を視聴後、牛乳パックから作られたトイレトーパーパーやリユースびんなどを実際に手に取ってみます。




# D-13 「植物をムダなく使おう」

～JICA 海外協力隊派遣 アルゼンチン・インドネシアでの活動～

講義担当:田中良平(NPO 法人シニアボランティア経験を活かす会)

講座対象者	<input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	小学生・中学生「社会科・理科」、高校生「環境・生物・農業・国際理解」		
関連のあるSDGsのゴール	9,12,13,15	オンライン授業	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input checked="" type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	10時～16時		
年間実施上限数	3回(日程があれば3回を超えても開催できる場合があります)		
講座実施方法 ※( )は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(パソコン、プロジェクターが利用できる教室、会議室等) <input type="checkbox"/> ワークショップ( ) <input type="checkbox"/> 自然体験( )		
講座所要時間	1時間程度		
実施条件、必要な準備等	パソコン、プロジェクター、スクリーン		

講座内容	
<p>1. 講座の目的・ねらい</p> <p>私たちは食品や衣類、家具など様々な植物を利用して生活しています。その植物をできる限り無駄なく使うことは、環境を守るためにも必要不可欠なことです。それは日本に限らず海外でも同じで、その技術を開発することが世界各地で求められています。その経験をお話しするとともに、SDGs について一緒に考えてみましょう。また、現地の生活や人との交流などについてもお話ししたいと思います。</p> <p>2. 内容</p> <p>(1) JICA 海外協力隊や派遣国について(5～10分)</p> <p>(2) 植物資源とその利用について(15～20分)</p> <p>(3) 現地での生活、人との交流、国内の状況など(10～15分)</p> <p>(4) 質疑応答(10～15分)</p> <p>授業時間は質疑応答を含めて50分程度を考えています。内容と時間配分は担当される方(先生)と相談して決めます。</p>	 <p>アルゼンチンは農業の国。農作物収穫後には大量の葉や茎などが畑に残されます。</p>

問合せ先:NPO 法人シニアボランティア経験を活かす会 TEL:090-3094-7845

メールアドレス:ryohei@fork.ocn.ne.jp